



太宰治生誕110年

今年は**人間失格**や**斜陽**などで有名な太宰治の生誕110年にあたります。**走れメロス**は教科書にもものっていたので、一度は読んだことがあるのではないのでしょうか。

太宰については既に多くの研究がされており、度重なる自殺未遂や交友関係、経済状況、依存症など彼の人生が見えてきます。

作品とその時の太宰を知ると、メロスは金を工面しに東京へ戻った太宰本人なのでは？などと想像できます。彼がなぜ**頬杖**をついているのかもわかります。

タイトル	著者名	出版社	出版年	請求記号
太宰治の生涯と文学	相馬正一	洋々社	1990	910.2/ダザ
ピカレスク	猪瀬直樹	小学館	2000	913.6/イノ
回想の太宰治	島津美知子	人文書院	1981	910.2/ダザ
無頼派の祈り	亀井勝一郎	審美社	1972	910.268/ダザ
小説太宰治	檀一雄	審美社	1970	B913.6/ダン
永遠の太宰治	ムック	河出書房新社	2019	910.268
桜桃とキリスト	長部日出雄	文藝春秋	2002	910.268
回想太宰治	野原一夫	新潮社	1998	910.268
恋の螢	松本侑子	光文社	2009	913.6
含羞の人	矢代静一	河出書房新社	1986	910.268/ダザ